

平成28年度事業の概要

平成28年2月
門真市





市民力・地域力で
選ばれるまち 門真へ



《目次》

I, 3本柱の重点施策



教育の向上

・・・ P. 3



まちづくり

・・・ P. 5



産業の振興

・・・ P. 7

II, 3つのキーワード施策



子ども

・・・ P. 9



女性

・・・ P. 11



コンパクトシティ

・・・ P. 12



公共施設

・・・ P. 14

III, その他の重点施策



公民協働



安全安心

・・・ P. 15



健康

3本柱の重点施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	事業費
教育の向上	1	継続	きめ細かな指導を実現する35人学級事業	<p>現在、国と大阪府の施策として小学校1・2年生で実施している35人学級を、28年度も引き続き全市立小学校5・6年生、全市立中学校1年生まで拡充し、児童・生徒一人ひとりによりきめ細かな教育を行うことにより、より確かな学力の定着をめざす。</p>	学校教育課	7,412万円
	2	継続	中学生放課後学習支援Kadoma塾事業	<p>学ぶ意欲と能力が高いにもかかわらず、経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が難しい中学3年生に対して、学習塾を活用した学習支援を行う。 27年度より実施しており、28年度も引き続き実施し、子どもたちの夢や希望に向けた頑張りを支援する。</p>	学校教育課	251万4千円

きめ細かな指導を実現する35人学級事業

【事業概要】

現在、国と大阪府の施策として小学校1・2年生で実施している35人学級を、28年度も引き続き全市立小学校5・6年生、全市立中学校1年生まで拡充し、児童・生徒一人ひとりによりきめ細かな教育を行うことにより、より確かな学力の定着をめざす。

■任期付教員 10人配置

事業費
7,412万円

中学生放課後学習支援Kadoma塾事業



【事業概要】

学ぶ意欲と能力が高いにもかかわらず、経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が難しい中学3年生に対して、学習塾を活用した学習支援を行う。

27年度より実施しており、28年度も引き続き実施し、子どもたちの夢や希望に向けた頑張りを支援する。

- 火・金曜日（午後7時～午後9時）
- 募集人数 25人程度
（選考テスト・作文もしくは面接等により決定）
- 27年度参加人数 16人
- 費用は無料
（テキスト代及び模擬テスト代は保護者負担）

事業費
251万4千円

3本柱の重点施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	事業費
まちづくり	3	継続	市立総合体育館建設事業	誰もが身近に利用しやすい生涯スポーツ推進拠点をつくるため、市立総合体育館の29年度開設に向けた建設工事を行う。	スポーツ振興課	31億9,095万3千円
	4	継続	北島地区土地区画整理事業	第二京阪道路沿道の計画的なまちづくりを進めるために、北島東地区において土地区画整理事業を導入し、良好な都市基盤の整備を行い健全な市街地形成を図る。28年度は、区画整理組合設立を支援するとともに、組合設立後、速やかに宅地造成工事等に着手できるよう支援を行い、30年度中のまちびらきをめざす。	まちづくり推進課	6億6,188万3千円
	5	継続	門真南駅周辺地区整備事業	大阪モノレール南伸が大阪府において事業化の意思決定がなされ、門真南駅が結節点になる予定である。これに合わせ、門真市第5次総合計画においても、本市の南の玄関口と位置づけられている南部地域の整備を行うことにより、賑わいのあるまちづくりを図る。28年度は、27年度に実施した意向調査の解析及び事業化に向けたまちづくり基本調査を行う。	まちづくり推進課	709万2千円

市立総合体育館建設事業



【事業概要】

誰もが身近に利用しやすい生涯スポーツ推進拠点をつくるため、市立総合体育館の29年度開設に向けた建設工事を行う。

■総事業費（25年度～28年度）約34億6千万円

事業費

31億9,095万3千円



※実際の整備後はイメージと異なります。

北島地区土地区画整理事業

【事業概要】

第二京阪道路沿道の計画的なまちづくりを進めるために、北島東地区において土地区画整理事業を導入し、良好な都市基盤の整備を行い、健全な市街地形成を図る。

28年度は、区画整理組合設立を支援するとともに、組合設立後、速やかに宅地造成工事等に着手できるよう支援を行い、30年度中のまちびらきをめざす。

■規模 約7.5ha ■平成25年10月 準備組合設立

事業費

6億6,188万3千円

門真南駅周辺地区整備事業

【事業概要】

大阪モノレール南伸が大阪府において事業化の意思決定がなされ、門真南駅が結節点になる予定である。これに合わせ、門真市第5次総合計画においても、本市の南の玄関口と位置づけられている南部地域の整備を行うことにより、賑わいのあるまちづくりを図る。

28年度は、27年度に実施した意向調査の解析及び事業化に向けたまちづくり基本調査を行う。

事業費

709万2千円



3本柱の重点施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	事業費
産業の振興	6	継続	新規ビジネス創出支援事業	<p>市内企業が企業間連携による新たなビジネスや新規分野への進出を行う活動を、中小企業サポートセンターのアドバイザーがセミナーの開催や企業のグループ化を側面支援することにより新事業創出につなげていく。</p> <p>28年度は、引き続きプロジェクトの事業化支援を行うとともに、新たなプロジェクトになりうる事業の発掘を行う。</p>	産業振興課	647万4千円
	7	継続	カドマイスターを探せ！事業（カドマイスター企業プロモーションの拡充）	<p>市では、卓越した製品・技術等を有するものづくり企業を「カドマイスター」として認定しており、カドマイスター企業を市内ものづくり企業の「顔」として、より広く売り込むことで、当該企業の販路拡大・事業拡大につなげるとともに、製造産業集積地としての本市知名度の向上を図る。</p> <p>28年度は、27年度に認定した企業8社に既存の認定企業のうち8社を加えた16社について、展示会への出展支援を行うとともに、全ての認定企業を紹介する冊子を新たに作成する。</p>	産業振興課	1,678万2千円

新規ビジネス創出支援事業

事業費
647万4千円

【事業概要】

市内企業が企業間連携による新たなビジネスや新規分野への進出を行う活動を、中小企業サポートセンターのアドバイザーがセミナーの開催や企業のグループ化を側面支援することにより新事業創出につなげていく。

28年度は、引き続きプロジェクトの事業化支援を行うとともに、新たなプロジェクトになりうる事業の発掘を行う。

《事業化の一例》

航空・輸送機・産業機械プロジェクト

門真市の企業と航空・輸送機・産業機械大手の各企業をつなぎ取引を拡大する。

メタルスーパー群団

門真市内の優れた金属加工技術を有する特色を活かし、協同での受注・生産ができるよう体制づくりを進めていく。

第6次産業進出

門真市の伝統野菜でもあるレンコンを原料に付加価値の高い食品などを開発し、農商工業者の活性化、地域活性化をめざすプロジェクト

門真市中小企業サポートセンターHP



門真市中小企業サポートセンター



支援内容

ビジネスマッチング → 企業間マッチング、産学連携支援など
 経営支援 → 金融、IT化、経営研修、人材育成、経営相談、経営相談、経営支援、その他経営支援の提供
 改善活動支援 → 5S/6シグマ/TPM/設備、生産現場の改善活動の支援
 販路拡大 → 販路拡大に関するノウハウ提供、販路拡大支援
 新規ビジネス創出支援 → 市内企業を中心とした企業グループによる新規ビジネスの提供
 情報収集支援 → 企業情報の提供、企業紹介など

アドバイザーの構成

担当: 技術・管理などの専門知識を有するさまざまな企業の人材で構成しています。⇒ アドバイザー一覧

支援事業の一例

● 航空・輸送機・産業機械プロジェクト
 ● 改善活動支援
 ● 販路拡大
 ● 人材育成

ものづくり補助金申請支援

製造業事業者がものづくりの中心企業・小規模事業者が共同で改善活動の申請支援を行っています。
 平成27年度: 16社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社
 平成28年度: 16社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社
 平成29年度: 16社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社
 平成30年度: 16社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社
 平成31年度: 16社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社
 平成32年度: 16社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社 20社

カドマイスターを探せ！事業 (カドマイスター企業プロモーションの拡充)

事業費
1,678万2千円

【事業概要】

市では、卓越した製品・技術等を有するものづくり企業を「カドマイスター」として認定しており、カドマイスター企業を市内ものづくり企業の「顔」として、より広く売り込むことで、当該企業の販路拡大・事業拡大につなげるとともに、製造産業集積地としての本市知名度の向上を図る。

28年度は、27年度に認定した企業8社に既存の認定企業のうち8社を加えた16社について、展示会への出展支援を行うとともに、全ての認定企業を紹介する冊子を新たに作成する。

カドマイスターとは

市がカドマイスターとして認定することで、広く情報を発信し、企業が躍進できるよう支援することを目的とした認定制度です。

平成23年にスタートし、現在までに 33 社のものづくり企業が認定を受けています。

「マイスター」とは、ドイツ語で「名人」「匠匠」という意味であり、門真市とマイスターを合わせた造語。

- ・製品のブランド力が高い企業【製品力評価】
- ・卓越した技術力・技能を有する企業【技術力評価】
- ・品質管理の意識が高い企業【品質評価】
- ・市場での占有率の高い企業【市場評価】
- ・人材育成や社会貢献に対する取組を行う企業【その他評価】

以上の認定基準を満たし、卓越した技術などを持つと認められた門真市内に本社または製造拠点を置く製造業を営む中小企業者をカドマイスターとして認定します。



3つの キーワード 施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	事業費
子ども	8	新規	子どもの貧困対策事業	<p>子どもの貧困に関する本市の状況を把握し、課題を整理する。 28年度は、子どもの生活実態を把握するためのアンケート調査等を実施する。</p>	こども政策課	424万8千円
	9	継続	公立認定こども園整備事業 (（仮称）門真市立南認定こども園整備事業)	<p>市立南保育園及び市立南幼稚園の老朽化への対応、27年度より施行の新制度における就学前の幼児教育・保育の内容を踏まえて、（仮称）市立南認定こども園として整備を行う。 28年度は、実施設計を行うとともに、29年度の建築工事の本格実施に向けた取組を行う。</p>	こども政策課	3億4,085万3千円
	10	継続	保育定員拡充事業	<p>平成27年3月に策定した、「門真市子ども・子育て支援事業計画」に基づく保育供給数を確保するため、既存施設の活用を前提とした上で、保育定員の拡充を実施する私立幼稚園及び私立保育所、新制度での地域型保育事業に移行する認可外保育施設等の施設改修に対する補助金を交付する。 28年度は、27年度からの継続分を含め、私立保育所及び私立認定こども園3園、認可外保育施設2園に対し、保育定員の拡充に要する整備費用補助を実施する。</p>	こども政策課	5億5,361万2千円

公立認定こども園整備事業 (仮称) 門真市立南認定こども園事業)

【事業概要】

市立南保育園及び市立南幼稚園の老朽化への対応、27年度より施行の新制度における就学前の幼児教育・保育の内容を踏まえて、(仮称)市立南認定こども園として整備を行う。

28年度は、実施設計を行うとともに、29年度の建築工事の本格実施に向けた取組を行う。

■平成30年4月に開設予定

■総事業費(27年度~29年度)約12億4千万円
(用地費約3億8千万円を含む。)

保育定員拡充事業

【事業概要】

平成27年3月に策定した、「門真市子ども・子育て支援事業計画」に基づく保育供給数を確保するため、既存施設の活用を前提とした上で、保育定員の拡充を実施する私立幼稚園及び私立保育所、新制度での地域型保育事業に移行する認可外保育施設等の施設改修に対する補助金を交付する。

28年度は、27年度からの継続分を含め、私立保育所及び私立認定こども園3園、認可外保育施設2園に対し、保育定員の拡充に要する整備費用補助を実施する。

■28年度定員増加数 152人

事業費
3億4,085万3千円

事業費
5億5,361万2千円

3つのキーワード施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	事業費
女性	11	継続	女性サポートステーション運営事業	<p>第2次かどま男女共同参画プランの基本理念によるめざす姿「いきいきと男女がともに輝く男女共同参画都市」を実現し、仕事や地域活動など、あらゆる分野に女性が積極的に参画できるよう、本市における女性の活躍を推進するための拠点である「門真市女性サポートステーション」の運営を行う。</p> <p>28年度は、引き続き女性の相談にワンストップで対応できるよう、女性のための相談や就労相談、働き方や自己実現に応じた子育て支援情報の提供、エンパワメントを支えるセミナーを実施する。</p>	人権女性政策課	1,388万2千円

門真市女性サポートステーション

WESS



子育ての悩み、就労など
女性からの相談に
WESSが
ワンストップで対応

女性の悩み 解決サポート

- ・女性のための相談
生き方、子育て、人間関係など、女性が抱える悩みや問題を解決するための相談を実施
- ・子育て支援情報の提供
働き方や自己実現に応じた保育サービスなどの情報を提供

- 午前10時～午後6時30分 週5日開設
(休館日：木、日曜日、祝日、12/29～1/3)
- 女性のための相談は、火・土曜日 午前11時～午後5時45分
- 場所：コア古川橋内

エンパワメントを支える 学習・啓発をサポート

- ・情報ライブラリー
女性の問題解決や、男女共同参画社会の実現などに関する図書・DVDを貸し出し、自主的な活動を支援
- ・ワーク・ライフ・バランス等の学習支援・啓発
女性が多様な生き方を選択し、実現できるように、働き方や家庭、地域活動などライフステージに応じたテーマのセミナー・講演会を開催

就労サポート

- ・就労相談
仕事の探し方、面接の受け方をはじめ、資格取得講座などについて相談・助言
- ・キャリアカウンセリング
本人の適性や希望などを踏まえたキャリア形成につながるカウンセリングを実施
- ・キャリアアップセミナー
キャリアを次の展望につなげるためのセミナーを開催

愛称のWESS(ウェス)は
「Women」「Empowerment」「Support」
「Station」の4つの単語の頭文字です。
「女性が自己決定し、力を発揮できる(エンパワメント)ように支援(サポート)する」という意味が込められています。

平成27年10月
開設



事業費
1,388万2千円

3つの キーワード 施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	事業費
コンパクト シティ	12	継続	公共下水道整備事業	<p>「快適に暮らせる生活基盤の整備」の実現に向け、31年度での下水道人口普及率100%達成を目標に、27年度より加速的に整備を進めているところであり、28年度においても、引き続き中部排水区及び西部排水区における公共下水道未整備区域において、管渠築造工事を行う。</p>	公共下水道課	29億2,099万円
	13	継続	立地適正化計画策定事業	<p>コンパクトシティ実現に向けた都市の再構築を図るために、住宅及び医療、福祉、商業その他の住居に関連する施設の立地の適正化を定め、これらの施設の立地を一定の区域に誘導するための立地適正化計画を27年度より着手しており、28年度は、地域の核となる都市機能誘導区域及び居住誘導区域等の設定を行い、本市のまちづくりの具体像を示すものとして策定する。</p>	まちづくり 推進課	1,277万9千円



公共下水道整備事業



【事業概要】

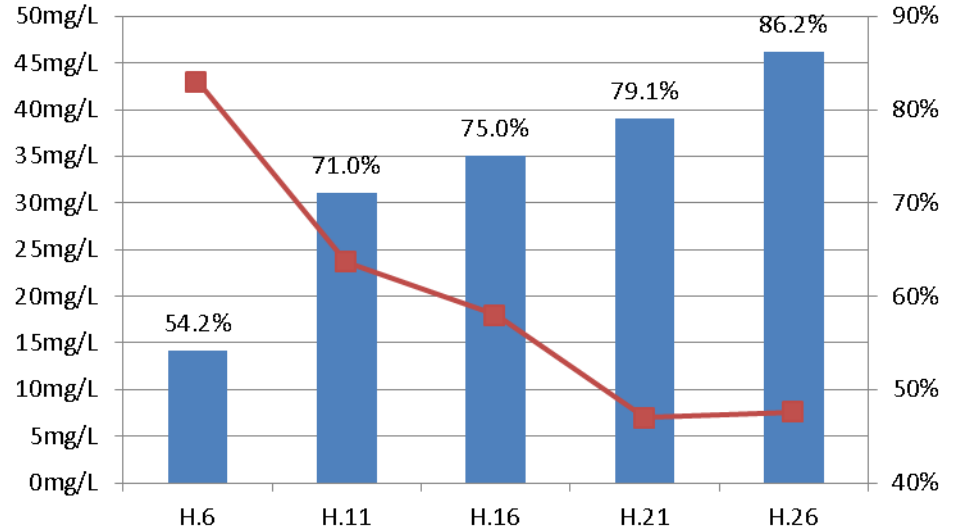
「快適に暮らせる生活基盤の整備」の実現に向け、31年度での下水道人口普及率100%達成を目標に、27年度より加速的に整備を進めているところであり、28年度においても、引き続き中部排水区及び西部排水区における公共下水道未整備区域において、管渠築造工事を行う。

■28年度末見込 下水道普及率：90.0%



事業費
29億2,099万円

下水道普及率と水質改善（下八箇荘水路）の効果



※下八箇荘水路は、主要河川である古川に流入する水路

■ 下水道普及率

※BODの数値は、下水道の普及に伴い下がっています。

■ BOD

28年度末見込
下水道普及率：90.0%

before (砂子水路付近 平成19年) >>> after (砂子水路付近 平成27年)



その他の重点施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	事業費
公共施設	14	継続	公共施設等総合管理計画策定事業	<p>本市が保有し、又は管理している建物、インフラを含めた全ての公共施設等の現状と課題を整理し、長期的な視点をもって、財政負担の軽減・平準化を図るため、公共施設等の総合的かつ計画的な管理計画を策定する。</p> <p>27年度には策定方針を定め、全ての公共施設等の現状調査及び市民意識調査を実施したところであり、28年度は、これらの分析・整理を行い、更新・統廃合・長寿命化など長期的な視点に立った公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画を策定する。</p>	公共施設等総合管理計画策定担当	619万4千円
	15	継続	自治基本条例推進事業	<p>門真市自治基本条例第16条に規定されている、中学校区単位を原則とした、地域の課題解決に向け、協働推進に取り組む組織である「地域会議」への財政支援等の支援を行う。</p> <p>28年度は、三中校区及び五中校区の地域会議における活動支援と、他校区の地域会議の立上げ支援を行う。</p>	公民協働課	1,824万5千円
公民協働	16	継続	ボランティアポイント制度事業	<p>現行の地域通貨を活用したボランティア事業にボランティアポイント制度を導入し、福祉分野等で必要とされている手助けなど、多様なボランティア活動の更なる誘発と連携を促す。</p> <p>28年度は、市内におけるボランティアの促進を一層図るため、制度の周知・啓発を行うとともに、実施団体に対して、引き続き支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■平成27年10月より開始 ■概ね30分のボランティアで1ポイント付与（年間30ポイント以上で500蓮を贈呈） 	地域活動課	207万5千円

その他の重点施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	事業費
安全安心	17	継続	防犯カメラ設置促進事業	27年度に本市の防犯対策をソフト・ハードの両面から行動計画としてまとめた「門真市防犯対策アクションプラン」に基づき、28年度は、自治会設置の既存の防犯カメラについて、リース方式によるカメラ更新を行うとともに新たな防犯カメラの設置を行う。	地域活動課	1,185万8千円
	18	継続	危険家屋等対策事業	倒壊の危険性がある建築物の除却工事に対する補助制度により、住環境の安全確保の推進を行う。 28年度は、門真市域内の空き家等の実態調査を行うとともに、28年度施行予定である建築物等の適正管理に関する条例に基づき倒壊等による危険を未然に防ぐことにより、安全安心なまちづくりの促進を図る。	建築指導課	3,717万1千円
健康	19	新規	特定健診事業（特定健診未受診者対策事業）	若年層の特定健診受診率の向上に重点を置いた取組として、40歳代の特定健診未受診者に対し、自宅に居ながら健康チェックを行えるセルフ健康チェックサービス「スマホdeドック」を公費負担で提供し、健康意識を高め未受診者の掘り起こしを図る。	健康保険課	211万7千円

自治基本条例推進事業

【事業概要】

門真市自治基本条例第16条に規定されている、中学校区単位を原則とした、地域の課題解決に向け、協働推進に取り組む組織である「地域会議」への財政支援等の支援を行う。28年度は、三中校区及び五中校区の地域会議における活動支援と他校区の地域会議の立上げ支援を行う。



事業費
1,824万5千円

【地域会議イメージ図】



グループワークの様子



市役所からの支援
財源(補助金等)と地域担当の職員を確保する等、協働していきます。



まちあるきにて課題を抽出する準備会委員(三中)



理事会・代議員合同会議での各部会報告(五中)



まちあるきの様子(五中)



防犯カメラ設置促進事業

【事業概要】

27年度に本市の防犯対策をソフト・ハードの両面から行動計画としてまとめた「門真市防犯対策アクションプラン」に基づき、28年度は、自治会設置の既存の防犯カメラについて、リース方式によるカメラ更新を行うとともに新たな防犯カメラの設置を行う。

- 既存カメラの更新 51台
- 28年度新規設置台数 25台
- 28年度末 市内設置台数 207台

事業費
1,185万8千円

特定健診事業 (特定健診未受診者対策事業)

【事業概要】

若年層の特定健診受診率の向上に重点を置いた取組として、40歳代の特定健診未受診者に対し、自宅に居ながら健康チェックを行えるセルフ健康チェックサービス「スマホdeドック」を公費負担で提供し、健康意識を高め未受診者の掘り起こしを図る。

事業費
211万7千円

スマホdeドック

利用の流れ



※スマートフォン以外にも、PCやタブレット等、インターネット環境下で申し込み済み・結果閲覧が可能です。

左記の図については、KDDI 2015 ニュースリリースセルフ健康チェックサービス「スマホdeドック」の提供開始の記事より転載しています。

<MEMO>

～ガラスケプロフィール～

名前: 元祖招き猫 ガラスケ
出身地: 門真神社参道のとある駄菓子屋
性格: 「ニャーニャー」ではなく
「ガラガラ」と鳴くひょうきん者
趣味: 接客
好物: かつお節、れんこん、くわい
特技: 人を呼び込むこと・幸福を呼び込むこと

ガラスケ ホームページ <http://garasuke.com/>



平成28年度事業の概要

作成: 総合政策部企画課・財政課

電話: 06-6902-5572 (企画課)

06-6902-5869 (財政課)